

編 集 後 記

異常気象続きの2014年は終わり15年も正月から大吹雪でいやな予感がする年が明けて参りました。

さて「島根医学」もvol.34 No 4をお届けすることが出来ました。

毎回島根大学様には生涯教育講座お世話になっております。第1編吉田正人先生には20年にわたる含フッ素化合物研究の成果をふまえ基礎的な最新の知見を解説いただき、続いて2編は猪俣泰典先生の放射線治療はここまで来たかという様々な治療法を分類し詳しく説明いただきました。なかなかいつも勉強になります。

「臨床・研究」の部も今回5題とたくさん投稿していただきました。

小林先生はワクチンの有効性に対しその副反応が話題になっている中C I Nに対するレーザー蒸散や円錐切除の症例をたくさん報告され興味深い考察を加えられています。

三井先生の投稿は2題、腹腔鏡下の腎部分切除術と開放腎部分切除術成績の比較、2題目は喫煙が膀胱癌再発にまで影響するのかと興味深い報告でした。

加藤先生は肝細胞癌門脈腫瘍塞栓に対する放射線治療の門脈圧への影響を症例をあげ検討されました。次の泉先生は「島根医学」に度々投稿され大変貢献されており、今回は小児高度肥満の成因の解説と対策を考察されています。最後の竹林先生は同時多発した大腸原発悪性リンパ腫の貴重な症例を報告いただきました。

以上投稿いただいた先生方には感謝申し上げます。

(k.k)

島根医学編集委員

葛尾信弘， 貴谷 光， 泰 公平， 児玉和夫， 森本紀彦，
浅野博雄， 沖田旺治， 齊藤洋司， 佐藤比登美， 井川幹夫，
中山健吾， 徳島 武

島 根 医 学

平成26年12月31日発行

発行者	島 根 県 医 師 会
	松江市東奥谷町
編 集	編集者 葛尾信弘
発行所	松江市学園南2丁目3番11号 有限会社 松陽印刷所